B T 研究開発プロジェクトチーム及び B T 戦略会議における意見の整理

わかりやすい目標の設定

基礎医学・基礎科学の強化（予算の充実、質の充実等）

我が国が競争に勝てる分野と国策上不可欠の分野への集中的な研究投資

日本の強みの強化と産業への応用

計測機器、解析ソフト、試薬等の開発

エレクトロニクス、ロボティクス、ナノテクノロジー等との融合

大学改革の推進（教官の任期制、評価等）

研究者・技術者のインセンティブ向上

強力なリーダーシップが発揮できる研究開発体制の構築

目標、スケジュール、責任等を明確にしたプロジェクトの実施

政策・プロジェクトの継続性

B T 研究開発に係る各省の縦割りの排除と総合的に推進する体制の構築

省庁の枠を越えたトップダウンで専門家が戦略を立案

基礎・応用・開発を同時に行う研究機関を新設、又は既存の組織を統合（集積効果）

研究開発の評価と運用（産業化の視点で行う、間接部門のスリム化による効率化を図る等）

研究者主導の研究機構の設置

研究開発プラットフォーム（学界、ベンチャー、各種産業の研究開発の基盤）の整備

産から学に資金が流れ、また、学の成果を産が利用できるパートナー

シブの構築

プロジェクトの企画段階から産が参画できるシステム構築

産学官の研究者が交流できる場の整備

官の迅速な意思決定

臨床研究に関するルールの整備

臨床研究の研究者に対するインセンティブの充実

臨床研究・治験に関する基盤整備（臨床センターの整備、支援体制の充実、審査のスピードアップ等）

臨床研究を支援する人材の育成（生物統計家、リサーチ・ナース、臨床研究コーディネータ等）

臨床研究・治験に対するインセンティブの充実（受託研究費や補助金の使途の制限のあり方、人事評価への反映、臨床研究に関する補助金の充実）

臨床研究・治験に関する体制整備（医療機関のネットワーク化、データ管理センター、臨床専門医育成のための大学院大学の整備等）

B Tに係る知的財産戦略の構築（三極のハーモナイゼーション、裁定実施権の扱い、裁判機能、医療関連技術の特許法における取り扱いの明確化、日本版バイ・ドール規定の徹底、特許化支援体制、大学等の成果の権利かの奨励等）

T L Oの機能強化

バイオベンチャー支援策（税的優遇、公的機関の一時的施設解放、経営支援）

ベンチャー立ち上げ時のテーマ選択

ベンチャーと既存企業の協力体制

インキュベーション施設の充実

技術と経営の両方に通じた人材の育成

ベンチャーにおける「ポスドク」の活用

バイオクラスターに関する支援策

研究特区の検討

大学における産業応用研究の適切な評価

企業の研究開発に係る税制優遇

生物遺伝資源の利用と管理

バイオインフォマティクスの高度利用環境の整備（関連のデータベースを統括する機能を創設する等）

標準化（計測機器、データベース等）

人材育成（B T全般に係るもの）

新領域の人材育成に係る大学の努力

海外研究者の活用

安全対策に係る人材の育成

国民理解の増進

中立的な安全研究の実施と科学的データの集積

ベネフィットとリスクを個人レベルで判断できるための知識レベルの底上げ

国民が適切に判断し、選択できるシステムづくり

（コミュニケーション、情報開示、学校教育・社会教育のあり方）

ライフサイエンスに係る倫理指針のあり方

個人遺伝情報保護

E L S I (Ethical ,Legal ,Social Issue) に対する国の取組

新しい医療技術の開発（テーラーメイド医療、再生医療）

たんぱく3000プロジェクト

糖鎖の機能解析、用途開発のための資源集積

プロテオーム研究の推進

幹細胞研究の推進とその利用に係るガイドラインの整備

医薬品の研究開発・新薬の価格決定システム

医薬品の審査体制の充実（審査期間の短縮、独立性、専門性、相談制度の充実、三極相互承認の推進、レギュラリーサイエンスの充実等）

感染症対策（ワクチンの整備等）や免疫系疾患対策

食生活による疾病の予防（食育、テーラーメイド栄養学等）

医療機器開発の促進

機能性食品に係る環境整備（科学的根拠の明確化、表示のあり方等、コンセプト確立、審査体制、普及活動）

バイオマーカーの探索研究

バイオレメディエーションの推進（プロジェクト推進、安全性データの蓄積と公開）

バイオレメディエーション（微生物による環境浄化（土壌汚染の修復等））に係るルール設定のあり方

生分解性プラスチックの開発やバイオマスエネルギーの活用

バイオプロセスによる環境負荷低減型の物質生産系の構築と産業化推進

微生物や植物・動物による有用物質生産（薬理物質、健康維持物質等）

植物の環境修復・保全機能の活用（環境汚染物質除去、環境バイオセンサー）

農業研究における産学官のあり方

植物に関する有用遺伝子の発見

食品安全に係るリスク評価体制とリスク管理体制の構築